

## 第4学年 外国語科学習指導案

ろ組 男子17名 女子17名 計34名

指導者 J T E 高 味 淳

A L T Christopher Sneller

### 1 単 元 “Let's Play with the Alphabet !” ～小文字で絵をかこう～

#### 2 単元について

##### (1) 単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、これまで国語の学習でローマ字に慣れ親しんだり、アルファベットの大文字に慣れ親しんだりしてきている。そして、子どもたちは、これらの文字を使ったゲーム活動や自分の名前などを書いて相手に紹介するなどの活動を通して、相手と積極的にコミュニケーションを図る楽しさを味わうようになってきている。また、アルファベットとローマ字の音や、ひらがなの数などについて比べることで、アルファベットという文字の特徴に気付き、もっと様々なことを知りたい、調べたいと願うようになってきている。さらに、アルファベットの大文字を使った活動だけでなく、小文字を使ったゲーム活動や実際に読んだり、書いたりすることを通して慣れ親しみながら、相手や目的を意識したコミュニケーションを継続したり、工夫をしたりして英語をこれまでよりも使えるようになりたいと願うようになってきている。

そこで、本単元では、アルファベットの大文字を使って相手とコミュニケーションを図りながら英語を使う楽しさを味わう「Let's Play with the Alphabet !～大文字で遊ぼう～」を発展させ、アルファベットの小文字を取り入れた活動を設定する。この活動を通して、**様々な文字に触れ、楽しみながら文字を扱うこと**のよさ、**また文字を使うことで互いに理解すること**のよさに気付かせたい。さらに、文字を扱うことで英語を使うことへの自信をもち、**もっと英語を学んだり、使ったりしていきたいという態度**を身に付けさせていきたい。

この学習は、アルファベットの大文字・小文字を使ったコミュニケーション活動や初歩的な英語を書く活動を通して英語を使う喜びや楽しさを味わう第5・6学年の学習へと発展するものである。

##### (2) 指導の基本的な立場

子どもたちにとって、アルファベットは、歌やテレビ、本、また日用品の中などにおいて見たり聞いたり、読んだりなどしてきており、慣れ親しんでいるものと考えられる。また、読み方や表記の仕方の違いこそあれ、第3学年よりローマ字の学習をしてきており、親近感をもてるものでもあると考える。さらに、アルファベットの文字を扱う活動は、机上での活動だけに終始することなく、身体や指などを使った活動や、英語の歌詞を見ながら歌う活動などに展開させることができ、その中で、友達と協働しながら英語を使う楽しさやよさに気付くきっかけになるものと考えられる。そのため、これまで学んだ英語やジェスチャー等の表現方法を使って、自分の考えや思いを伝え合う活動を設定することは、互いのことを理解することができ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するのに適している。また、ローマ字とアルファベットの発音やアルファベットの大文字・小文字の形などを互いに比較していくことは、言葉の面白さや豊かさに気付くことにも適している。

このようにアルファベットを使って、コミュニケーションを図る楽しさや、言語や文化への体験的な理解を深めたりするために、よりよく慣れ親しむことができるゲーム活動やコミュニケーション活動を重視していきたい。そして、アルファベットの文字が使えるようになることで、もっとたくさん英語を読んだり書いたりしてみたい、さらに英語を使って積極的にコミュニケーションを図っていきたいという願いが連続・発展していくような活動を展開していきたい。

具体的にはまず、教師がアルファベットの小文字を使ってかいた絵を提示し、文字の形等に触れさせながら、気付いたことや考えたことなどを話し合い、本単元に対する興味・関心を喚起させる。そして、子どもたちが目的意識をもって主体的に学習に取り組めるよう、文字を生かして自分なりの絵をかくというめあてを設定させる。また、チャンツや歌、文字を扱ったゲーム活動を通して、

文字に対する抵抗をなくしていくことで慣れ親しませていく。

次に、これまで慣れ親しんだ英語を生かしながら、どのような英語を使えばよいか、また英語を使った作品が思い付かない場合はどのようにすればよいかなどをグループで話し合わせる。そして、話し合ったことを基に、使えそうな絵を調べたり、考えたりさせる。さらに、**文字を使って表現した絵を紹介したり、身の回りの初歩的な英語を書き写させたりすることを通して、初歩的な英語を身に付けさせ、英語を使う喜びや楽しさを味わわせる。**

このような学習を通して、英語を使って自分の思いや願いを伝えるための内容や方法を考え、相手と協働しながら、自他のことをよりよく理解し、コミュニケーションを図る楽しさを味わうことができるものとする。

(3) 子どもの実態 (対象者：4年ろ組児童34名 数値は延べ人数で、結果は主なもののみ表示)

① コミュニケーションへの関心・意欲・態度について	
○ 外国の人や先生、友達と話をしたり、遊んだりするのは好きか。	
＜はい(32)＞	
・楽しくて面白い(26) ・英語が上達する(5)	
・友達が増えて仲が深まる(4)	
＜いいえ(2)＞	
・恥ずかしい(1) ・英語が分からない(1)	
② アルファベットの慣れ親しみについて	
○ アルファベットの小文字を書きなさい。(未習内容)	
・達成率の高い順3つ：a(25) o(20) z(19)	
・低い順3つ：q(6) l(8) f(9)	
③ 言語や文化に関する気付きについて	
○ 大文字・小文字について気付いたことは何か。	
・形や大きさが似ている字や違う字がある(17)	
・無回答(10) ・書いたり、区別したりするのが困難(4)	
④ 学習・生活経験に関する内容について	
ア 英語を読んだり、書いたりしたいか、またその理由	
はい・いいえ	主な理由
はい (29)	・英語を上達させたい(16) ・将来役に立つ(4) ・ふだん機会がない(4)
どんな英語を書いたり読んだりしてみたいか。	・学校(文房具, 楽器, 時間割等)(9)
	・スポーツ(6) ・飲食物(6)
	・簡単な文(4) ・名前(3)
いいえ(5)	・自信がない(3) ・好きではない(2)
イ 英語の文字を使ってどんな活動をしたいか。	
・ゲーム活動(30) ・スキット(16) ・クイズ(14)	
・歌(10) ・本を扱った活動(10)	

本学級の子どもたちは、外国の人や友達とコミュニケーションを図ることを好んでいる。相手とかかわることで楽しさを味わえるためである。一方、否定的に考えているのは**自信がなかったり、多くの英語を知らないといけないと思ったりしていることが主な原因**と捉える。(①)

アルファベットの小文字の慣れ親しみについては最も書けた文字が“a”であり、最も書けなかった文字が“q”であった。“a”はローマ字の最初に出てきたり母音であったりするため、慣れ親しんでいるものと考えられる。“q”はローマ字にはなく、また、ふだん見ない文字であるためではないかと考える。(②)

大文字と小文字については、形や大きさなど比較する力をもっている。一方、無回答が目立ったのは、文字に対する知識が乏しいことが考えられる。(③)

学習・生活経験に関する内容については、英語を読んだり、書いたりすることに対し、大部分が好意的である。また、実際に読んだり書いたりしたい英語は、子どもにとって身近なものであると考える。一方、批判的な捉えをしている子どももいる。**読むことや書くことへの未経験やその面白さ等に気付いていないことが原因**と捉える。(④-ア) 文字を扱う活動については、発達の段階から体を動かすことが中心のものが多かった。一方で、文字を読むことに主眼を置く本を扱う活動を選ぶものもいた。静的な活動を好む子どももいることを表している。(④-イ)

(4) 指導上の留意点

ア 『活動のめあてを立てよう』では、アルファベットの小文字に慣れ親しませるために、どんな活動を設定すれば主体的に学ぶことができるか話し合わせる。その際、文字を読んだり書いたりすることが苦手な子どもも意欲的に活動していけるように、平易で楽しいイメージがもてる文字を使った絵をかかせる内容を盛り込むようにする。

イ 『小文字に慣れ親しもう』では、より抵抗なくアルファベットに慣れ親しませるために、見ることを主体とした活動から始め、聞く、話すというように段階的に活動を展開させる。その際、アルファベットの小文字の面白さや豊かさに気付かせるために、大文字やローマ字との形

や大きさなど比べさせ、それぞれの思いを発表させる。そして、慣れ親しんだ小文字を使って、友達と協働し、よさを認め合いながら自分なりの絵を作り上げる。

ウ 『思いを伝えよう』では、英語を使う喜びや楽しさを味わわせるために、作った作品を発表させ、思ったことなどを伝え合う。また、思いを連続・発展させるために、これからどのように英語を学んでいきたいか考えさせながら、振り返りカードに学びを書かせ、成長を実感させる。

### 3 目 標

- (1) 「アルファベットの小文字を使えるようになりたい。」という願いのもと、相手と積極的に小文字を使った歌やゲーム活動等に取り組む。
- (2) ABCソングを歌ったりゲーム活動等に取り組んだりして、アルファベットの大文字と小文字の形や大きさの違いなどを知り、英語の面白さや豊かさに気付く。
- (3) アルファベットの小文字を読んだり書いたりする活動を通して、アルファベットの小文字に慣れ親しむ。
- (4) 相手や目的に適したコミュニケーションを行うために、相手に聞き取りやすい声量、発音、スピードに気を付け、コミュニケーションを継続する。

### 4 指導計画（全4時間）

思考の高まり	過程	学習課題と主な学習活動	教師の具体的な働きかけ
<p>小文字は大文字と形が違うものもあるな。見ているだけで興味わいてきたよ。</p>	<p>意欲をもつ ①</p>	<p><b>I 活動のめあてを立てよう</b></p> <p><b>Let's Look for Letters.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隠れているアルファベットの小文字を探す。</li> <li>・ 単元のめあてを話し合う。</li> </ul> <p><b>アルファベットの小文字を使って、絵（マークなど）をかこう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ABCソングを歌う。</li> <li>・ 校内アルファベット探しをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字を使った活動への意欲を喚起させるために、教師が文字で作った絵を提示し、どんな絵ができそうか問い掛ける。（自分が書きたい絵、4年ろ組の雰囲気を表す絵など）</li> <li>○ アルファベットの小文字を視覚的に理解させるために、小文字に見立てた校内の建物等を探させる。</li> </ul>
<p>はっきりと言えるようになってきたよ。書けなくても色々な方法で表現できるよ。</p>	<p>つかむ ①</p>	<p><b>II 小文字に慣れ親しもう</b></p> <p><b>Let's Play with the Alphabet.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ABCソングを歌う。</li> <li>・ 探した文字を発表する。</li> <li>・ 身体や指で小文字を表現する。</li> <li>・ カードゲームをする。</li> </ul> <p><b>Let's Draw a Picture.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文字を見ながら歌を歌う。</li> <li>・ 文字当てゲームをする。</li> <li>・ 文字を生かした活動をする。</li> <li>・ 文字絵の下書きをする。</li> <li>・ できた絵を紹介し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小文字を体験的に慣れ親しませるために、身体を生かした活動を取り入れる。その際、協働することのよさに気付かせるためにグループの形態を取るなどの工夫をする。</li> </ul>
<p>同じ音の大文字と小文字が分かるようになった。書いてみるともっと分かるようになった。</p>	<p>挑戦する・広げる ①</p>	<p><b>III 思いを伝えよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4年ろ組の学級目標を生かしてシンボルマークを作る。</li> <li>・ できた作品を紹介し合う。</li> <li>・ 作品の感想を伝え合う。</li> <li>・ 単元を通しての学びを振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字を抵抗なく書けるようにするために、文字を書きながら遊ぶ活動や文字を使った絵をかかせる活動を取り入れる。</li> </ul>
<p>英語を使うのは楽しいな。もっとたくさんの文字を書いてみたいな。文字を使って他の場面でも思いを伝えたいな。</p>	<p>振り返る・生かす ①</p>	<p><b>アルファベットの小文字を使うのは楽しい。文字が書けるようになった。英語を使う自信がこれまでより付いた。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 協働しながら文字を書く楽しさを味わわせるためにクラスのシンボルマークをグループで作成させる。</li> <li>○ 文字を扱う活動への意欲を高めるために、活動の態度面や技能面等についての成長を取り上げ、称賛する。</li> </ul>

## 5 本 時 (3 / 4)



### (1) 目 標

アルファベットの小文字を使った活動を通して、相手と積極的にコミュニケーションを図る。また、アルファベットの小文字を読んだり書いたりする活動を通して、小文字に慣れ親しむ。

### (2) 本時の展開に当たって

本時では、思考の高まりを目的にした学び合いが重要だと考える。そこで、「小文字を使ってテーマ性のある絵をかいてみよう。」と問い、協働して絵を作らせ、できた作品のよさを伝え合うことで、文字に対する多面的な考え方を高めていく。その際、小文字の音にも意識させるために、作った絵に使った小文字の音を絵のタイトルに生かすようにし、文字の面白さに気付かせていく。

### (3) 実 際

過 程	主 な 学 習 活 動	使 用 英 語 等	時 間	教 師 の 具 体 的 な 働 き かけ
意 欲 を も つ	1 Warming Up ("ABC Song")	1 番は、歌のみ。2 番は、小文字の形を手で表現しながら歌う。	5	○ 小文字の形と音を一致させるために小文字の形を手で表現しながら歌を歌わせる。その際、小文字の形がイメージできるように、指文字を拡大して前面に示す。
	2 Meeting Today's Target Let's Draw a Picture. ・アルファベットの小文字を使って、実際に絵をかこう!	(1)文字当てゲーム ・教師が示した文字を背中に書いて当てるゲーム。		
つ か む	3 Alphabet Game (1) 文字当てゲーム (2) ことば遊びゲーム 何だか書けそうだよ。	(2)ことば遊び ・回文 (palindrome) "Borrow or rob?" ・クイズ (quiz) など	12	○ 英語の面白さに気付かせるために、示した英文から文字について考えさせる活動を取り入れる。その際、「日本語でも同じような遊びはないか」と問い、日本語の面白さにも気付かせる。
	4 Writing			
挑 戦 す る ・ 広 げ る	5 Drawing a Picture (1) 文字ブロック  早くノートに書きたいな。	【話し合い例】 C1: "o" を使うと人の頭の形になるよ。 C2: エコマークには "e" が使われているよ。 C3: 自分なりのマークを作るのかな? C4: 二人で一つの絵をかこうよ。 T: なるほど。友達と協力して一つの作品を仕上げるのもいいアイデアですね。	22	○ 小文字を身に付けさせるために a から z までを実際書かせる。その際、抵抗なく書けるよう見本の文字を示しておく。 ○ 文字を使った絵をかくイメージをもたせるために、文字ブロックを用いて簡単な絵を作らせる。
	6 Presentation "b" を使っているから、"big lion" なんてどうか。だじゃれみたいで面白い。もったないかな。	C: This is a "r". This is a "b". "Lion!"		
振 り 返 る ・ 生 か す	7 Reflection Time  アルファベットを使って楽しく活動できたよ。他にもできそう。早く次もやってみよう。	T: 「4ろ」's title is "明るく元気「ろ組」" Do you have any ideas? T: I draw this one. How is it?	6	○ 文字を書いた絵がかけられるようにするために、グループ形態を生かし、友達と協働しながら活動を展開していく。 ○ 英語を使った喜びや楽しさを味わわせるために、できた作品を発表させながら、作品のよさを互いに認め合わせたり、多面的な見方や考え方に気付かせたりして称賛し、価値付けていく。
	8 Ending			